

事業報告書

I. 学校の概要

1. 専門課程学生数

学科名	入学定員	2018年5月1日	2019年5月1日	増減
ビジネス科	60	91	83	△8
グローバルビジネス科	60	7	3	△4
国際関係学科	80	77	83	6
合計		175	169	△6

2. 専門課程以外学習者数

	2018年5月1日	2019年5月1日	増減
日本語教師養成講座	10	9	△1
パソコン講座	5	3	△2
通信制高校	31	26	△5
Superkids Marunouchi	—	23	23
合計	46	61	15

II. 事業の概要

1. 専門課程

専門課程の学生に対する教育は、教科としての学習指導に加えて、社会の一員として必要な自律・自立の精神や、積極的に他とかかわりを持てるようにする「協調性」を育てることも重要なこととなった。

2018年度は、上記の課題をもち、1年を4期にわけ、それぞれの期で目標を定めてカリキュラムを組んだ。

第1・3期 資格取得のための集中的なカリキュラムによる学習。

短期間で資格取得に取り組み、合格率を上げた。

第2・4期 社会性を育成するための期であり、学内のイベントにむけて、「企画」「制作」「表現」をキーワードに、実践的な学習に取り組んだ。

人間関係構築のために、「協力すること」、「協力を依頼すること」、「皆

で話し合うこと」、「目標を決めて、達成すること」を学ぶ。また、この学習では、留学生との国際交流の場ともなる。これからの社会は、諸外国とのかかわりが一層深くなることから、学生時代より「自然に外国人と協力して仕事ができる」という感覚を持てることは、ひとつのアドバンテージになろう。

2. 専門課程以外の分野における事業

1) 社会人クラス

日本語教師養成コースおよびパソコンコースを設置している。

日本語教師は、今後ニーズが高まる見込みのため、広報に力を入れ、優秀な教師を輩出したい。また、言語としてだけの日本語教育ではなく、日本社会で活躍する人材育成のためには、社会人として経験が活かせるであろう。

パソコン講座は、すでにニーズが減ってきたため、現在の office 系の講座を閉講し、2019年度は、リカレント教育として、企業ごとの在職社会人の教育をする予定である。

2) 通信制高校について

中学校での不登校者や高校中退者が増える中、高校卒業資格をとれるように、学業だけでなく人間関係の構築も含めて指導する必要がある。専門学校という、環境を生かし、こうした生徒の支援をするために、通信制高校の学習センターを継続する。さらに、進学の手導や就職の手導を行い、自立の道を歩む支援をする。

3) Superkids Marunouchi

2019年度より本格スタートするため、2018年度に無料体験会を実施し、受講生を増やすよう取り組んだ。2020年より、小学校で英語とプログラミング教育が取り入れられることを見据え、今後の子どもの教育にも力をいれていく。